

令和元年度第1回 岐阜県圏域地域医療構想等調整会議 主な質問・意見

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	東濃	議題2	地理的条件の確認について、近接というのはどうゆうことか、遠隔というのはどうゆうことか、同一構想区域とはどうゆうことか。東濃圏域に落とし込んで説明していただきたい。また、それぞれの自治体との関係を含めて説明いただきたい。	県においても詳細が不明の状況である。厚労省の説明会が開催されるのでおそらくそこでも出ると考えている。そのため現時点で近接や遠隔等についての詳細は不明。同一構想区域については、二次医療圏だと思う。それより詳細にすることはないかと思う。市町村との関係ということだが、市町村立病院は、開設者が市町村のため、市町村での検討になると思われる。具体的な調整方法等、国から何か方法が示されているわけではなく、代替可能性がある、再編統合の余地がある公立・公的医療機関を公表するとしているだけのため、具体的対応方針や進め方について、おそらく都道府県単位の地域実情に応じてということになると思うため、その際には皆様に議論していただきたい。公立・公的プランの見直しになると、すぐにできるものではないので、皆様と充分検討していきたい。国の方でも、再編統合を公表する際には、時間を要することを把握しているため考慮はしていただける。
2	東濃	議題2	定量的基準について、データはあるのか。	データの準備ができなかったため、次回以降で対応したい。
3	東濃	議題2	急性期病棟とは言えない病棟においては、しきい値が難しいものもある。	昨年度の協議でもあったが、基準は県独自のものになるので、データの確認・提示し、再度ご意見をいただくことになると思う。
4	東濃	議題2	病院で、しきい値が足りないというのであれば、再編統合を暗示されていると感じる。	県としては現状を把握したく、急性期を重症急性期、地域急性期の二分割で把握したい。
5	東濃	議題3	医師の少数区域の調整は、県がするのか。	派遣調整の中心となるのは地域枠医師になるが、県は人事権等をもっていないため、県が主導で調整するのは難しい。少数区域への医師の派遣については、コンソーシアムを通じて、医局へ要請するが、今後どのようにやっていくか検討課題である。
6	東濃	議題3	地域枠の若い先生は、医局に入らない先生がたくさんいる。	
7	東濃	議題3	自治医大は、県でコントロールしているが、地域枠は誰もコントロールしていない。地域枠の学生は希望する診療科の選択も含めて地域のニーズとの折り合いがつかない。内科医を必要としても、眼科医等に来ていただいても意味がない。そのような折り合いを誰が調整するのか決まっていないのに、このような計画は非常に困る。	
8	東濃	議題3	若い医者への強制力は誰がもっているのか疑問。事実上、所属している病院が持っている。異動は病院のご厚意によってなるのではないか。具体策が分からない。	自治医は県職員の身分であるため県が派遣調整できるが、地域枠はコンソーシアムとの調整の中で強制ではないが、医局にお願いしている。今年度からは地域枠に地域医療コースを設定し、将来的には岐阜圏域以外に数年間行ってもらおうよう見直しをした。
9	東濃	議題3	同じ税金を使用しているのであれば、自治医と地域枠のシステムの一本化をすればいいのではないか。	将来的には地域枠を自治医と同様に、県職員として募集することも可能性としては考えられるが、今の地域枠の人たちはそういう条件で入っているわけではないので、後付けで条件を課すのは難しい。地域枠を県職員として採用することができるかどうか分からないが課題としては認識している。
10	東濃	議題3	地域枠医師は医局人事を基本に岐阜大学の関連病院に派遣されると聞いているが、関連病院以外の配置についてどのように考えているのか。	コンソーシアムを通じて各医局には岐阜圏域以外に行くようお願いしているが、計画が実行性を伴うものになるよう、もう少し強く医局、コンソーシアムへお願いしていかねばならないと考えている。
11	東濃	議題3	医局の意向と地域枠の医師の先生の意向はどちらが優先されるのか。	医師の先生の意向を踏まえての医局人事だと思う。
12	東濃	議題5	多治見市にこのような医療機関ができるのは大歓迎。	

令和元年度第1回 岐阜県圏域地域医療構想等調整会議 主な質問・意見

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
13	東濃	議題5	新規開業の医療機関の場合は、今後もこの調整会議で諮るのか。	有床診療所のみ諮る。
14	東濃		地域医療構想の中で、合併等の話があるが、調整会議の場でも説明をいただきたい。	医療機関と調整しながら、内容が明らかになってきた場合に、この調整会議の場で諮っていききたい。
15	東濃		それぞれの組織で先に決めたものを調整会議で説明しているということか。	経営主体や設立場所などの個別具体事案についてではなく、病床数や医療機能等について、調整会議の場で説明させていただく。
16	東濃	アドバイザー講評	東濃地域は他の圏域とは異なり、東西に大きく名古屋とも近い。医療機器の共同利用について、難しくなると思うため、圏域で十分に協議していただきたい。埼玉県等では、県外の圏域へ患者が流出しているため、不足しているとは感じていないと話していた。医師会の先生、病院の先生で話し合いをしっかりと、医師の偏在や患者の動向等意見を出していただきたい。救急は病院に集中しやすく、開業医の先生にもご協力をしていただき、将来的に患者が減るため、今は大変だと思うが、協力してもらいたい。	